

サービス評価票（事業所自己評価）

事業所名	こども通所支援事業所 はなのうら
------	------------------

平成 29年 10月

チェック項目	評価			改善目標、工夫している点など
	はい	どちらともいえない	いいえ	
環境・体制整備				
① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室等、目的別に使用出来る部屋を4室有しており、利用定員を適切に受け入れることができます。
② 職員の配置数は適切であるか	○			各部屋の用途に合わせて職員配置を工夫し、死角が出来ないようにしています。
③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			平成29年5月の建て替え時に、バリアフリー化に十分配慮しました。
④ 利用児の特性に合わせて、スペースの確保や温度・照明・音量等の環境調整ができていますか	○			遊戯室等を4部屋有し、十分なスペースが確保されています。また、目的別に使用できるように、部屋ごとに環境設定しています。
業務改善				
⑤ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			自主研修等を通して、目標を持つ事や業務改善に繋がる問題意識を持ち、職員全員で共有し新たに実践できるようにしたいと思います。
⑥ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		アンケートを通じて保護者の意向を把握できました。 今後は、この結果をもとに、業務改善につなげられるよう、努めていきたいと思っています。
⑦ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所内に掲示しています。 また、はなのうらのHPにも載せています。
⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後、外部評価機関などの外部評価の受審体制を整えば、受けたいと考えています。
⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			来年度にかけてベクスの研修や、障害特性をより理解できるような支援についての研修の機会を増やしたいと思っています。
適切な支援の提供				
⑩ アセスメントを適切に行い、利用児と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画（又は児童発達支援計画）を作成しているか	○			年2回、アセスメントを行い、個別支援計画を作成しています。
⑪ 利用児の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	保護者からの聞き取りと、フェイスシートの記入をお願いしています。
⑫ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムについては、職員全員でミーティングし、毎月の案と毎日の案を作成しています。

チェック項目	評価			改善目標、工夫している点など
	はい	どちらともいえない	いいえ	
⑬ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動プログラムを職員全員でミーティングし、内容を工夫しています。
⑭ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日や長期休暇は平日ではできない体験を中心に計画をたて、その中で個々にあった課題を設定し小グループに分ける等支援をしています。
⑮ 利用児の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画（又は児童発達支援計画）を作成しているか	○			利用児の特性や状況を踏まえて、個別活動や集団活動のバランスを考えながら作成しています。
⑯ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝のミーティングで細かく打ち合わせし、確認しています。
⑰ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎等もあり、支援終了後ではなく、翌朝のミーティングにおいて前日の振り返りを行い、気付いた点を共有しています。
⑱ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		記録を正しくとることを徹底していますが、その記録をもとに検証・改善を行ってはならず、今後はサービス会議や日々のミーティングで行っていきます。
⑲ 定期的にもonitoringを行い、放課後等デイサービス計画（又は児童発達支援計画）の見直しの必要性を判断しているか	○			年2回、monitoringを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断しています。
⑳ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			ガイドラインの総則を基本とした活動を実施していますが、利用児一人ひとりの特性に合わせた支援の工夫をこれからも考えていきたいと思っています。
関係者と保護者への説明責任				
㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用児の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			出席前には、利用児の状況をスタッフ全員で詳細に検討し、担当職員が参加しています。
㉒ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、利用児の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			毎学期、情報交換会議を行ったり、月始めには下校時刻の確認を連絡するなどこまめに情報の共有を行っています。
㉓ 医療的ケアが必要な利用児を受け入れる場合は、利用児の主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要な利用児の受け入れは、体制が整っていないため、現状では困難な状況です。
㉔ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学前に利用していた保育所等から相談事業所へ提供された情報については、可能な限り共有できるように願っています。

チェック項目		評価			改善目標、工夫している点など
		はい	どちらともいえない	いいえ	
②⑤	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談事業所主催の会議等で提供したり、直接の依頼にも出来る限り提供するようにしています。
②⑥	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センター等主催の研修には積極的に参加するようにしています。また、児童発達支援センターを利用している利用児については連携し、助言を受けることもしています。
②⑦	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない児童と活動する機会があるか		○		利用児の特性もあり、現状では困難ですが、機会があれば交流していきたいと考えています。
②⑧	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			防府市子ども発達支援部会に参加しています。
②⑨	日頃から利用児の状況を保護者と伝え合い、利用児の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者とは、連絡帳や、送迎の際の会話において利用児の状況や課題について共通理解が出来るよう努めています。
保護者への説明責任等					
③⑩	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ペアレントトレーニングの研修も参加し、支援出来るよう努めています。
③⑪	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際、また質問があった際には説明をしています。
③⑫	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった際には、必要な助言が出来るよう支援しています。
③⑬	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会の開催については、必要性や保護者の要望があれば、対応していきたいと考えています。
③⑭	利用児や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、利用児や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			担当職員を配置し、迅速な対応が出来るよう対応しています。
③⑮	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用児や保護者に対して発信しているか	○			はなはな日記を定期的に作成し、活動概要等をお知らせするとともに、日々の連絡帳でも写真でお知らせするなど情報を発信しています。
③⑯	個人情報に十分注意しているか	○			当事業団の「個人情報保護規定」等に基づき対応しています。また、利用児ケース記録等は鍵付ロッカーで保管しています。

チェック項目		評価			改善目標、工夫している点など
		はい	どちらともいえない	いいえ	
③7	障害のある児童や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用児に合わせて、絵カード・写真等を利用した支援も取り入れ、より理解出来るように配慮しています。保護者の方については、その状況を送迎時や連絡帳で報告し、共有できるようにしています。
③8	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			スヌーズレンの一般開放デーを月に1日設定しています。
非常時等の対応					
③9	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		各マニュアルを分かりやすく施設内に掲示し、周知を図っていきます。
④0	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月、本体と一緒に避難訓練を行っています。
④1	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止のポスターなども、目につきやすいところに掲示したり、人権・虐待防止に関する園内研修に職員が参加しています。
④2	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用児や保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画（又は児童発達支援計画）に記載しているか	○			どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについては、園内で開催している人権擁護・虐待防止委員会において、組織的に決定しています。 また、利用児や保護者に事前に丁寧に説明し、同意書を頂いて支援計画に記載しています。
④3	食物アレルギーのある利用児について、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		アセスメントの際、保護者から医師の指示書を提出してもらった上で対応していきたいと思います。
④4	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットをもとに報告書を全員回覧し共有するとともに、業務改善を行っています。 また、園内で開催されているリスクマネジメント委員会に参加し、事例の分析・共有にも努めています。
その他					
④5	送迎サービスについては、利用児の特性等を踏まえ、安全に配慮して実施しているか	○			利用児の状況に応じて、運転手の他に添乗員を配置して、安全に配慮しています。
④6	食事サービスについては、利用児の体格や年齢、嗜好等を考慮して提供しているか	○			家族の情報をもとに管理栄養士のアドバイスを受け、体格や年齢に応じた量、障害特性・発達段階に合わせた食事形態で提供しています。
計（○の数）		37	5	4	